

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

## 公益財団法人 協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
教育部会長 若 林 克 彦  
両団体専務理事 清 原 淳 平

### 教育部会のお知らせ (第330回)

日時 平成29年2月24日(金) 午後1時半～3時半

場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第4会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より下車2分、永田町駅(有楽町線・南北線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。時刻前に到着された方は、恐縮ですが、金属探知機通過後、受付脇のロビーにてお待ちください。会議開始後にお越しの方は、受付に「第4会議室に行きたい」旨、お伝え下されば、お迎えにまいります。

議題 1、最近の高等教育改革について思う

挨拶 若林克彦部会長(国土館大学元学長)

2、学校に関する基本調査の報告の解説と検討

解説 若林克彦部会長

報告 去る平成28年12月19日開催の、第329回教育部会は、若林克彦部会長が議長を務めて行われました。まず、若林部会長より、「教育再生実行会議の提言と大学改革について問われているもの」と題して解説がありました。教育再生実行会議は、3年前の設置以来、8次にわたる提言を公表している。道德教育の教科化、いじめ防止、教育委員会制度改革にはじまり、センター試験改革など、そのまま政策として実行されているものが多い。大学教育改革に関しては、3つの方針に基づく大学教育の質の転換

が問われている。3つの方針とは、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針である。ある学部を卒業するとどのような資質・能力が身に付くのか。その力を身につけるために、どのような教育課程によって身に付くのか、それが体系化されているか。そしてこの教育を受けるにはどのくらいの学力が高校生段階で必要か、ということである。ここでいう学力とは、十分な知識・技能、それらを基盤にした答えが一つに定まらない問題に解をもたらす思考力・判断力・表現力、主体性を持って学習する態度を指し、知識の量だけをはかるものではないということだ。入学試験は、こうした能力をはかるものに改組し、大学の指導要領においては、3つの方針が取り入れられているかどうかを認証評価の対象となる。この25年間で大学の進学率は2倍になり、大学の数も1.5倍になったが、18歳人口は4割減り、間もなく100万人を切ろうとしている。そして、半分近くの大学が定員割れを起こしている。25年前の規制緩和で量は拡大されたが、果たして質は保証されているのか、社会からは見えにくい部分があった。これまでは、偏差値の高い大学の入学試験に通れば社会で通用するという面があったが、これから大学で何を学ぶかを意識することが学生にとっても重要だ。

その後の意見交換では、○大学における教授と学生との関係は、ある意味徒弟のような風習がいまだに残っており、そこを打破して行かないと変化は起きない。○地方の大学は、過疎化に歯止めをかける目的で存続している。大学に対する周囲からの評価は、就職の実績によるところが大きい、等々の意見が出ました。

★資料代**五百円**に御協力御願ひ申し上げます。

次回、2月24日（金）の教育部会に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名

貴方様の F A X

電話

テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、前日までに事務局へ御連絡下さい。

当日連絡先 080-8836-6203 又は 080-9292-2620